

指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

		施設所管課	福祉子ども部 子育て総合支援センター			
施設名	木戸つどいの広場					
指定管理者	NPO法人 子育てネットワーク志賀うりぼう					
指定期間	平成 27年 4月 1日 ~ 平成 32年 3月 31日					
指定管理料	年額 5,638,000円 (総額 28,190,000 円)					
設置目的	地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、親の子育てに関する不安感等を緩和するとともに、子どもが健やかに育つことに寄与するため。					
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の家族の交流の機会及び場所の提供 ・子育てに関する相談及び講座の実施 ・子育てに関する情報の提供 ・子育てに関する事業を行う者等との連携及び調整 					
主な成果 (自主事業含む)	<p>利用者数 目標 12,000 人 実績 11,372 人</p> <p>講座開催数 目標 150 回 実績 171 回</p> <p>講座参加人数 目標 1,400 人 実績 1,714 人</p> <p>【主な成果】 昨年の利用総数は、11,014人であったが、公立幼稚園の3年保育利用者や、保育園の早期利用者が増えているにも関わらず、利用者が増えたのは、乳児の比較的早い段階からの利用と、リピーター率の高さ、父親や祖父母の利用増と、休日利用の増加が原因だと思われる。また、今年は冬の雪が少なかったことも利用者の増加につながった。早い段階でにじっこの利用は、大津市の子育てアプリや、今年導入したLINE@での情報発信による周知が大きいと思う。</p>					
総合評価 I～IVによる評価	総合評価目標					
C (課題含)	利用者の声を積極的に取り入れ、利用者のニーズに合ったつどいの広場の運営ができている。収入が目標に届いておらず、今年度の現状を踏まえ収入額を見直すとともに、その範囲内で工夫、執行されるよう考えられたい。					
評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価理由	所管課評価	所管課確認事項
I 実施体制	施設の設置目的の達成	事業計画書、事業報告書	B (良好)	施設の設置目的を理解し、管理運営にあたることを意識して、会議研修を行った。	B (良好)	地域に密着した子育て支援施設として定着している。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件	事業計画書、勤務表、資格証、実地調査	B (良好)	事業計画書に沿って適切に職員を配置している。経費削減を検討する中で、スタッフの配置については、重要課題として継続して見直している。	B (良好)	常時2名以上の職員を配置するとともに、利用者が常に見渡せるように安全に配慮した見守りをしている。
	職員の研修	事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	B (良好)	事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育を実施している。	B (良好)	事業計画に沿った研修がされている。
	法令等遵守	仕様書、事業報告書等、実地調査	B (良好)	遵守している。	B (良好)	条例、仕様書等遵守されている。
	個人情報保護・情報公開	協定書、管理办法（実地調査）	B (良好)	適切に行っている。	B (良好)	個人情報は鍵のかかるロッカーに保管し、取り扱いについては職員で共有している。
	管理記録	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	適切に整備保管している。点検結果も適宜、記録保管している。	B (良好)	業務日誌等適切に管理されている。
	連絡体制	事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	計画書や報告書の提出については適切に提出しており、必要な場合には電話連絡等で報告をしている。	B (良好)	連絡が必要なことについて随時報告されている。また事業報告書ももれなく提出されている。
	緊急時対応	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	緊急時の対応については、スタッフ会議や研修の場で確認し合い、ケースに応じて、対応の見直しを行った。	B (良好)	緊急対応のマニュアルを、スタッフ会議や研修の場で確認されている。また職員の避難（消防）訓練も参加されている。
	(総括) 業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設7項目】			B(良好)		B(良好)

指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項	
Ⅱ 内 容 ・ 水 準	施設管理	事業計画書、日報	A (優良)	開館日、開館時間については順守している。安全確保についても常に対策を講じている。	B (良好)	開館時間は遵守されている。また安全のための確認も徹底されている。	
	利用状況	事業計画書、事業報告書	B (良好)	今年は冬の雪が少なかつたせいか、年間の利用者が増加した。	B (良好)	前年度と比較し利用者数が増加している。	
	利用者対応	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	利用者にとって話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。また、設備や備品の修理は迅速に行い、清潔で安全な環境整備に努めた。	B (良好)	利用者アンケートからは、丁寧で親しみやすい対応がされていることがわかる。	
	事業運営	事業計画書に則り、事業を計画どおり実施したか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B (良好)	事業計画書に則って計画通りに実施している。第2回、第3回の「ゆめそだち」の利用者は多かった。子どもが同年齢の親同士の集まりに人気があるよう思う。	A (優良)	事業計画に沿って事業を運営すると共に、参加者のニーズに応じた講座内容の検討をされて実施している。
	維持管理	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	評価項目についてはすべて実施できている。修理が必要なものについては迅速に対応するように心がけた。ただ、自動扉の耐久年数が過ぎており、時々変な動きがみられたが、業者に確認を依頼しても異常はなかった。業者からは部品等の取り扱いを勧められている。	B (良好)	利用者アンケートからは、安全面・衛生面においての評価も高い。また、備品の管理も適正である。修理が必要な箇所について適切に対応をされている。	
	情報提供	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	にじっこ通信による案内や、HPでの発信に努めている。またLINE@による情報提供サービスを始めた。	B (良好)	通信、HPは適宜更新されている。また、ラインでの情報提供の取り組みをされている。広場内における情報の掲示も分かりやすく工夫されている。	
	環境配慮	関係書類、実地調査	B (良好)	古紙回収、シュレッダーゴミの回収等、資源回収には積極的に参加している。	B (良好)	不要な箇所の消灯を行う等環境に配慮されている。	
	意見・要望・苦情	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	意見箱を設置したり、ひろばでの利用者の声を大事にしている。いただいたご意見には、返事を書き、ひろばに掲示した。	B (良好)	意見箱を設置し利用者の意見を把握している。また利用者の声を生かし、柔軟に対応されている。	
	利用者アンケート	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	利用者アンケートの結果については、可能な範囲で回答し、掲示板に貼っている。また、可能な範囲で検討、対応した。	B (良好)	10月に利用者アンケートを実施、11月の研修で職員間で考査されている。利用者の意見を把握し、できる範囲で柔軟な対応をされている。	
	（Ⅱ総括） 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目/当施設：項目】		B (良好)		B (良好)		
Ⅲ 収 支	経理事務	預金通帳、出納帳、予算執行状況、実地調査（金庫等）	B (良好)	経理事務は適切に行っていている。	B (良好)	指定管理料は適正に執行されている。経理事務についても適切に行われている。	
	収支状況	事業計画書、事業報告書	B (良好)	10周年記念のイベント経費が想外にかかり、寄付金が当初の計画ほど集まらなかったので、収支はマイナスになり、NPO本体より補填している。	C (課題含)	収入が予定を下回り、支出で予算を超えた負担があつたため赤字になっている。来年度の収入見込みを実質、收入に見合った支出となるよう検討する必要がある。	
	経費削減の取組	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B (良好)	経費削減に向けては、情報提供の方法を変更し、自治会向けににじっこ通信の回覧分の配布をやめた。自衛隊については引き続きナップドアに委託し点検した。	B (良好)	シフトの変更、有償ボランティアの活用等、経費削減に努められている。	
	（Ⅲ総括） 経費の収支等に関する評価【標準3項目/当施設：項目】		B (良好)		C (課題含)		
IV そ の 他	その他	事業報告書、実地調査	B (良好)	今年度はイベントを多く開催した。また、催し等の内容を検討した。	B (良好)	大きなイベントにより参加者数も多くなっている。	
	（IV総括） その他に関する評価【標準2項目/当施設：項目】		B (良好)		B (良好)		
特記事項等 （課題・成果）	【指定管理者】	今年度にはにじっこ10周年の記念YEARとして年間3回のイベントを行った。4月の人形劇、8月の音楽会、3月のマリンバコンサートと普段の催しより大掛かりで参加者は多かったが、その分、出費も多くなってしまった。大津市内の幼稚園の3年保育が進むと同時に、保育園利用者が年々増加し、幼児の利用者は少なくなったが、BPプログラム等の取り組みもあり、以前より乳児の利用が増えてきた。またリビーター率も上がった。しかし、講座の参加率は下がってきてるので、対象年齢をもっと下げた内容のものにする必要性を感じている。6月よりLINE@による情報発信を始め、次第に登録者が増えてきている。また、それに伴い、にじっこ通信の回覧をやめた。					
	【施設所管課】	利用者に合ったひろば運営、講座開催など評価できるが、収入が減少したことにより赤字決算となった。収入予定の見積もりを見直し、収入の範囲内での執行となるよう留意されたい。					

※評価基準:項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A~D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価

提出

所管課評価

通知

指定管理者

送付

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)